



生協ひろしま

サステナビリティレポート

私たちは、協同の力でより豊かなくらしの創造と、平和な社会づくりに貢献します

2020

協同の力で未来をつくる



生活協同組合ひろしま 理事長
宗本 干城

平素より生協ひろしまの活動に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

2025年は、国連が「国際協同組合年」と定めた記念すべき年であり、私たち協同組合にとって自らの使命を見つめ直す重要な機会となりました。世界が急速に変化する中で、地政学的な緊張、気候変動による災害の頻発、食糧安全保障への懸念が顕在化し、国際社会は持続可能な未来を築くための連帯を求められています。こうした状況下において、生協ひろしまは「協同の力」を基盤に、地域社会の課題解決と生活者の暮らしを支えるための活動を続けてまいりました。

特に日本では、少子高齢化と物価高騰が地域社会に深刻な影響を与えています。このような課題に対し、生協ひろしまは宅配事業を柱とした高齢者の見守り活動、子育て支援、買い物弱者へのサポート、そして地域コミュニティの活性化を進めてまいりました。これらの取り組みは、組合員の皆さまとの対話を通じて生まれた「たすけあい」の精神を具体化したものです。

また、2025年は広島にとって被爆80年という節目の年でした。私たちはヒロシマにある生協として、平和の思いを次世代へ紡ぐ活動をさらに強化しました。広島市内には新たに「原爆の絵碑11号碑」が設置され、全国の生協や平和募金によるご支援がこの実現を支えました。また、オンライン形式での平和学習会や被爆証言のデジタルアーカイブ化など、新しい手法を取り入れ、核兵器廃絶と平和な社会の実現を目指すメッセージを広く発信しています。戦争や紛争が続く国際社会で、ヒロシマからの平和の訴えはますます重要な意義を持つものと確信しています。

さらに、気候変動が引き起こす自然災害や食糧の供給不安は、地域レベルでも大きな影響を及ぼしています。生協ひろしまは、地域の生産者と連携した産直事業を通じて安全で持続可能な食文化を守るとともに、防災・減災活動や再生可能エネルギーの普及を進めています。これらの取り組みは、地球環境を保護し次世代の暮らしを守るための重要な一歩です。

2026年は、「2027中期計画」の折り返し地点を迎えます。この計画では、経営基盤の強化とともに、組合員の皆さまの暮らしに寄り添う事業をさらに発展させることを目指しています。私たちは、組合員一人ひとりの声を大切にしながら、地域課題の解決や持続可能な社会の実現に向けて引き続き取り組んでまいります。

このサステナビリティレポート2026は、私たち生協ひろしまが地域社会や環境課題に向き合い、持続可能な未来の実現に向けて取り組んできた活動の成果をステークホルダーの皆さまにお伝えするものです。2025年度の活動を振り返りながら、地域課題の解決、平和活動、気候変動への対応、食の安全保障、そして組合員の暮らしを支える取り組みについて具体的な成果と課題を報告いたします。

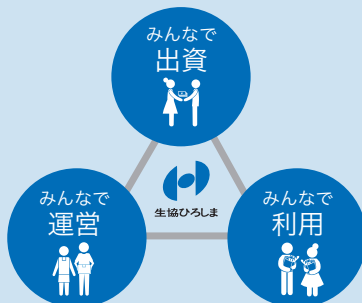
私たちは、地域社会における「なくてはならない存在」として、これからも組合員の皆さまと力を合わせて、持続可能な未来を築いてまいります。

皆さまのご理解とご支援を賜りながら、協同の力を活かした新たな挑戦を続けていきます。どうぞ引き続きご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

生協とは

生協とは平和でより豊かな暮らしを実現するために、みんなでお金を出し合い(出資)、利用し、運営している組合員の組織です。

より良いものをより安く、安全・安心な商品の提供だけでなく、地域の皆さんと一緒に、平和・環境・文化・福祉などの様々な取り組みを通じて、誰もがくらしやすい豊かな社会の実現をめざした活動と事業を行っています。



基本理念

私たちは、協同の力でより豊かな暮らしの創造と、平和な社会づくりに貢献します

21世紀ビジョン

日々の暮らしに役立つ生協づくり

組合員の利用で生まれた 剰余(利益)は、以下の方法で分配します。

- 1 生協の将来の発展のために積み立てる
- 2 みんなで利用する
宅配やお店を運営するために使う
- 3 組合員へ還元する

生協ひろしま2030年ビジョン

- 1 『つながり』を大切にする社会の実現
- 2 『安全・安心』にくらせる社会の実現
- 3 『健康』にくらせる社会の実現
- 4 『平和』をめざす社会の実現
- 5 生協ひろしまの
『未来を担う人材・組織』の実現

ヒロシマにある生協として



ピースナイター

18回目のピースナイターを開催

ピースナイターは、2008年8月に旧広島市民球場で「折り鶴ナイター」という名称で初めて開催されました。

このイベントは、「カープの試合で平和の大切さを多くの人に伝えられるのでは」という一人の職員の発案がきっかけでした。カープ球団の協力を得て、広島から平和を発信する恒例イベントとして定着しています。試合中の5回裏には、観客が「ピースナイター新聞」を掲げ、スタンド全体が緑に染まり、原爆ドームと同じ25メートルの高さに赤い「ピースライン」を浮かび上がらせます。球場全体が一体となり、「核兵器も戦争もない平和な世界を」という願いを力強く発信します。

被爆ピアノコンサート

被爆ピアノの音色にのせて平和をアピール



原爆の被害を乗り越えた被爆ピアノを通して、「被爆の実相」を継承する被爆ピアノコンサートを、12月に東区民文化センターで開催し約220名が来場。来場者は調律師の矢川光則さんの講話と被爆ピアノの音色に耳を傾けました。

平和募金

平和募金に取り組みました



2025年度の平和募金では、組合員の皆さまから6,377,959円のご協力をいただきました。募金は被爆者支援や継承活動団体へ支援金を贈呈するとともに、組合員による平和活動などに役立てられます。

原爆の絵碑

協同の力で原爆の絵碑を設置



被爆者が描いた原爆の惨状を後世に伝える11号絵碑を広島市内に19年ぶりに設置。全国の生協と多くの方々の協力で実現しました。これからも被爆の実相を様々なかたちで未来へ継承していきます。

碑めぐりガイド

ヒロシマの記憶を次世代に



2025年度、生協ひろしま碑めぐりガイドの会は、県外の修学旅行生など172団体・15,814人をご案内しました。また、組合員対象の碑めぐりは11回開催し、44名が参加しました。被爆者の声や平和の重要性を次世代に継承し、平和を学び合う活動を継続しています。

被爆証言動画

動画で伝える被爆の実相

生協ひろしまでは被爆者や戦争体験者の証言を動画で紹介し、いつでも誰でも学べる環境を整え、平和の記憶を次世代に継承する仕組みを整えています。2025年は、梶矢 文昭さん、豊嶋 佳子さんにご協力いただきました。



動画の視聴はこちら



地球環境を守る取り組み



631,682kWhを発電



CO₂削減に向けて、5つの事業所の屋根に太陽光発電装置を設置しています。
2025年度は
631,682kWh/年を発電しました。
そのうち**268,528Kwh**を自家発電電力として使用しました。

2030年度までにCO₂排出量を70%削減します (2013年度対比)

年度	13年度	30年度目標	23年度	24年度	25年度
CO ₂ 排出量	17,049	5,115	6,115	6,125	7,459
前年度比	-	-	114.3%	100.2%	121.8%
2013年度対比削減率	-	-	64.1%	64.1%	56.2%

2030年度までに70%のCO₂削減に取り組みます。

照明器具や設備の省エネ化、こまめな消灯に取り組み2013年度対比の削減計画に対して**56.2%**の進捗となっています。

リサイクル推移

項目	回収実績量 (t)					前年対比	再生品
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度		
飲用パック (支所・店舗)	65.0	64.7	62.6	63.3	62.4	98.6%	コアノンロール
たまごパック (支所・店舗)	48.8	42.6	51.5	29.8	28.6	96.0%	たまごパック
発泡トレイ (支所・店舗)	16.9	17.2	18.3	19.9	19.2	96.5%	トレイ
透明トレイ (店舗)	8.8	9.1	10.4	11.8	12.5	105.9%	トレイ
シッパー内袋 (支所)	43.1	45.5	44.9	49.1	46.7	95.1%	再生フィルム 文房具
チラシ類 (支所)	4,928	4,970	4,708	4,560.1	4,572.1	100.3%	チラシ
ペットボトル (店舗)	23.9	25.8	22.5	25.1	25.5	101.6%	プラスチック原料
合 計	5,134.5	5,174.9	4,918.2	4,759.1	4,767.0	100.2%	

※たまごパックはこれまでの排出量からリサイクル量に係数を変更しました。

6割の食品廃棄物をリサイクル



各店舗から排出される野菜くずなどを肥料にリサイクルすることで、食品廃棄物の削減に取り組んでいます。
2025年度の食品リサイクル率は**59.6%**でした。

「コープでんき」の利用を推進

今日から一緒に 未来のためのエネルギー

累計契約件数9,999件 (2026年3月末現在)

より多くの方に「コープでんき」をご利用いただき、家庭から排出されるCO₂排出量を削減することを目的に2030年には**12,000件**の契約保有件数を目標に取り組んでいます。

協同のチカラでCO₂を削減

生協ひろしまの事業で
70%CO₂削減

2050年度までに
90%CO₂削減

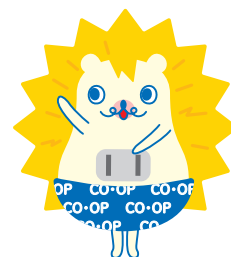
組合員の「コープでんき」のご利用で

家庭のCO₂排出量を1年間で
約20%削減

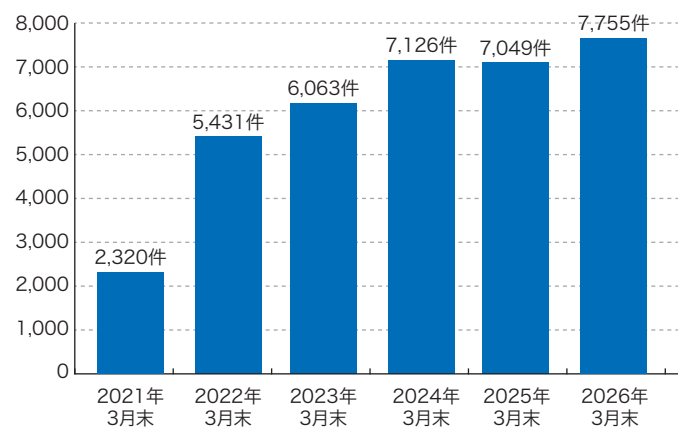
※地域大手電力会社対比 (年度により削減率は変わります)



コープでんきのキャラクター「こぶでん」がコープでんきの魅力を紹介



コープでんき契約保有件数の推移



契約組合員の声



原子力や火力発電ではなく、自然エネルギーによる発電がもっと普及してほしいという思いがありました。ただ、自分ひとりでは何もできませんので、「コープでんき」を利用することで、少しでも地球環境の改善に貢献できればと思い、コープでんきに加入しました。」

自治体・他団体と連携し課題を解決



広島県

安心つながりステーション

買い物支援と交流の場を拡大



買い物支援と交流の場づくりを目的に自治体と連携し、集会所やサロンなどに「安心つながりステーション」を開設。2020年から取り組みを開始し、現在**14カ所**に拡大しました。商品のお届けや体操教室などを通じ、地域のつながりを支えます。

良品計画との連携

地域課題の解決に向けて



相互利用の促進を目的に、5月に(株)良品計画と生協ひろしまが連携協定を締結。親子交流の場「ちゅきちゅきひろば」や「こどもマネー塾」を開催しました。企業の枠を超えて地域課題の解決と、活気あるコミュニティづくりを行っています。

3団体で連携

持続可能な農業の発展に向けて



10月、生協ひろしまはJA全農ひろしまとJA広島中央会と包括的連携協定を締結しました。地産地消の推進や安全な食の供給、環境に配慮した農業の実現をめざします。協同組合が持つ資源を活かし、持続可能な地域農業の未来に向けた取り組みを進めています。

広島県23市町

県内全市町と連携協定締結

私たちは、2019年3月に広島県福祉局との包括的連携協定を契機として、広島県内全23市町との包括的連携協定を締結しました。この協定を通じて、地域が抱える多様な課題に向き合い、官民協働による地域共生社会の構築をめざしています。行政との緊密な連携を強化し、市民が安心して暮らせる生活支援の提供や市民サービスの向上、地域の更なる活性化に取り組むことで、持続可能で豊かな地域社会の未来を共につくっていきます。

こどもコーぶらざ東広島

地域の子育てを支援



包括的連携協定の具体的な取り組みとして、子育て中の親子が気軽に集い、悩みや相談ができる子育て支援センター「こどもコーぶらざ」をコープ東広島とコープ西風新都の施設内に設置。2030年までに**20カ所**を目標に掲げ、地域と共創し、誰もが安心して子育てができる環境に向けた支援を継続します。

コープファミリーリレーマラソン in せら魅力まつり

スポーツで地域の活性化



スポーツを通じた地域の活性化に向けて、駅伝の町、世羅町で「コープファミリーリレーマラソンinせら魅力まつり」を開催しています。4回目となる2025年大会には**100チーム、900人**が参加、会場のせら夢公園には約**1,800人**の方が来場。健康とつながりをテーマにした、地域のイベントとして定着してきています。

メディアと防災連携協定を締結

地方テレビ局と防災連携協定締結



10月、テレビ新広島(TSS)と防災連携協定を結びました。メディアの情報発信力と生協の宅配網を活かし、協働の力で新たな防災ネットワークを構築するとともに、地域の防災力を高め、大切な命を守る安全安心な社会づくりに貢献して行きます。

誰もが安心してくらせる地域づくり



移動店舗

移動店舗で買い物支援

生協ひろしまでは買い物が不便な地域を中心に、移動店舗「ぶちこーぷ」でお買物を支援しています。

現在**4店舗**から**8台**の車両が**約378カ所**を毎週巡回し、多くの方に利用いただいています。高齢化や地域商店の減少に伴い、移動店舗は生活必需品の提供だけでなく、見守りや地域コミュニティ維持の役割も担っています。今後も地域のニーズに応え、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現をめざします。

ちいサポ

24時間支援で在宅介護を支える

廿日市市大野エリアで定期巡回・随時対応型訪問看護サービス



「ちいサポ・居宅介護支援・訪問介護・訪問看護の職員の連携」

「ちいサポ」を展開。医療機関と連携し、**約151件**の在宅介護を**24時間体制**で支援しています。
誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けられる福祉事業を継続します。

くらしの助けあい

“お互いさま”でつながる活動



地域での困りごとを組合員同士で支え合うくらしの助けあい活動では、**2025年度857名**の活動者が**5,592時間**活動し、**延べ998名**の依頼者を支援しました。これからもたすけあいの精神で“お互いさま”の思いと活動をつないでいきます。

ハートコープ・ハートランド

障がい者の社会参加を支援



障がいのある方々の雇用促進と社会参加の支援を行っています。宅配支援業務や農作物の生産などに従事し、一人ひとりが働きがいを持つとともに生活面においても成長できるよう支援しています。

CO・OPサポート

子ども食堂へ2,255点を支援



CO・OPサポートとは、子ども食堂が要望している商品を宅配や店舗を利用している組合員に購入してもらい、その購入商品を支援団体に提供し、支援団体から地域の子どもの食堂に届ける支援を県内で行っています。
2025年度は、子ども食堂46団体へ2,255点・1,133,411円分の商品を寄贈しました。

広島お好み焼き隊

広島の味で被災地を応援



11月、4生協共同で能登半島災害支援活動を行いました。
生協ひろしまからは「広島お好み焼き隊」を派遣し、2日間で**578食**のお好み焼きを提供しました。
今後も継続した顔の見える被災地支援を行うとともに、他生協との連携を強め、災害時の対応に備えていきます。

おもしろいコープ弁当便

配食と見守り活動



高齢者や子育て世帯、一人暮らしなど、食事づくりが難しい方を対象に、夕食のお弁当をお届けする「おもしろいコープ弁当便」を展開しています。
現在**27,520名**が利用し、**1日約3,400食**を提供。
お届け時には見守り活動も行い、地域に寄り添ったサポートも行っています。

2030年ビジョンの実現に向けて

だれもが安心して暮らし続けられる地域と社会づくり

「私たちは、協同の力で、より豊かなくらしの創造と、
平和な社会づくりに貢献します」

この基本理念のもと、生協ひろしまの“ありたい姿” “果たすべき役割”として生協ひろしま 2030年ビジョンを定めました。私たちは持続可能な開発目標であるSDGsの達成に向けて、ビジョンを実現していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs 世界を変えるための17の目標

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」



2030年ビジョンテーマ

ともに

つながりづくり・連携づくり

私たちは、
地域の中で連携し、
協同の力を発揮し、
地域コミュニティを
築きます。

創ろう

新たな価値の創造と進化

私たちは
『つながり』『安全・安心』
『健康』『平和』を大切に、
地域社会の課題に向きあい、
新たな価値を創造し進化します。

CO・OPの未来

輝く未来を築く

私たちは、
『つながりづくり・連携づくり』
『新たな価値の創造と進化』により、
笑顔があふれ、
希望に輝く未来を築きます。

GO! 2030

いざ! 実行!

私たちは、
この【2030年ビジョン】を
生協ひろしまの進むべき道とし、
事業と活動を
実行し続けます。

2030年ビジョン・SDGs目標と進捗状況

1. 『つながり』をたいせつにする社会の実現

項 目		年度	SDGs目標	SDGs項目	2025年度実績	進捗確認方法	進捗率
食品ロス削減活動	組合員認知率	2030	100%	1	99.7%	組合員アンケート	99.7%
ユニセフ募金活動	募金	毎年	3,000,000円	2	3,947,991円	毎年度募金額	131.6%
災害時復興支援・事業継続	災害基金	毎年	20,000,000円維持	3	21,831,148円	毎年度末基金	109.2%
子育て支援推進	子育て支援施設設置	2030	20か所	3	累計2か所	施設数	10.0%
組合員のくらしに貢献	「職員のコンシェルジュ化」と統合						
減災・防災取り組み	幹部職員BCP学習	毎年	年2回	11	年2回実施	毎年度実施	100.0%
	組合員学習参加率	2030	延べ10% 参加者 4,709名	11	78人	毎年度開催時参加人数	1.66%

2. 『安全・安心』にくらせる社会の実現

項 目		年度	SDGs目標	SDGs項目	2025年度実績	進捗確認方法	進捗率	
地域見守り	配送拠点設置	2030	20か所	11	累計10か所	設置拠点数	50.0%	
	夕食お届け食数	2030	1日3,700食	11	3,400食	年間平均1日当食数	91.9%	
	サポートカー全店舗配置	2023	11台	11	3台	全店設置台数	27.3%	
事業廃棄物削減	包材リサイクル認知率	2030	100%	12	66%	組合員アンケート	66.0%	
食品廃棄物の削減	食品廃棄物削減	2030	削減率30% 事業所由来 43,329kg	12	廃棄物削減額16,762kg	21年度実績対比	38.7%	
商品情報提供の強化	双方向通信による広報展開	2024	2024年度開始	4	2024年度開始	デジタル推進	100.0%	
生産直営政策の継続	組合員・職員学習参加	2030	年間延べ10,000人	4	348人	参加人数累計	3.5%	
食の安全に関わる情報発信	学習の場開催	2030	年6回	4	12回	毎年度開催回数	200.0%	
エンカル消費学習と利用促進	組合員認知率	2030	100%	14/5	63.8%	組合員アンケート	63.8%	
再生エネルギー利用推進	事業所由来電気CO ₂ 削減	2030	削減率70% 削減率 9,556トン	13	削減量9,558トン	13年度実績対比	100.0%	
業務車両からのCO ₂ 排出量削減	車両由来CO ₂ 削減	2030	削減率30% 削減率 927トン	13	削減量▲121トン	21年度実績対比	▲39.1%	
コブでん推進	供給電力CO ₂ 排出量	2030	0% 排出係数 ▲0.561	7	排出係数▲0.289	20年度排出係数対比	48.5%	
新システム構築	IT関連部署設置	2023	2023年度設置	部署設置	9	2023年度設置済	設置年	100.0%
省資源化	業務用紙使用量削減	2030	70% 削減量 4,740kg	12	削減量2,489kg	21年度実績対比	52.5%	
	カタログチラシ削減	2030	25% 削減量 756kg	12	削減量242トン	21年度実績対比	32.0%	
障がい者雇用の安定・維持	法定雇用率継続	2030	法定雇用率2.5%	10	雇用率2.45%	法定雇用率	98.0%	
障がい者団体の支援	支援募金	毎年	年1,000,000円	10	年2,537,881円	毎年度募金額	253.7%	

3. 健康にくらせる社会の実現

項 目		年度	SDGs目標		SDGs 項目別	2025年度実績	進捗確認方法	進捗率
組合員の健康づくりに貢献	GENKI体操参加	2030	年間延べ40,000人		3	年間延べ8,258人	毎年度開催時参加人数	20.6%
	学習機会参加	2030	年間延べ10,000人		4	年間延べ1,735人	毎年度開催時参加人数	17.4%
	職員のコンシェルジュ化	2026	2026年		3	2026年度計画準備中		
高齢者対応における地域貢献	認知症サポーター養成講座受講率	2030	100%	1,157人	3	855人	受講者確認	73.9%
不慮の事態における地域貢献	救命救急措置講座受講率	2030	100%	483人	4	103人	受講者確認	21.3%
各自治体との連携	自治体と相互情報発信	2030	全23市町		11	20市町	相互発信体系確認時	87.0%

4. 平和をめざす社会の実現

項 目		年度	SDGs目標	SDGs 項目別	2025年度末実績	進捗確認方法	進捗率
平和活動推進	平和活動への参加	2030	年間延べ30,000人	16	年間延べ36,759人	毎年度開催時参加人数	122.5%
平和募金活動	募金活動	毎年	年2,000,000円	16	年間6,377,959円	毎年度募金額	318.9%
核兵器廃絶行動	核兵器廃絶	2030	核兵器残存数0発	16	核兵器12,241発	国際平和拠点ひろしま	◆

5. 生協ひろしまの未来を担う人材・組織の実現

項 目		年度	SDGs目標		SDGs 項目	2025年度未実績	進捗確認方法	進捗率
地域に貢献する組織づくり	女性職員比率	2030	30%	518人	5	96人	24年度総合職人数対比	61.7%
	女性管理職比率	2030	20%	93人	5	10人	24年度管理職人数対比	54.0%
	新規総合職採用者確保	2030	年20人		8	21人	毎年度採用人数	105.0%
	定年年齢延長	2030	70歳		8	2024年度55歳延長開始	導入計画スケジュール	75.0%
組織内情報コミュニケーション開設	WEB広報誌職員閲覧	2030	100%	2,090人	9	747人	職員アプリ登録数	35.7%

生協ひろしまの概要

(2026年3月31日現在)

名称 生活協同組合ひろしま

創立 1984年10月(昭和59年)

本部 広島市西区草津港2-8-42

出資金額 136.7億円

宅配事業 404億5,777万円

活動エリア 広島県全域(定款)

供給高 500億5,946万円

店舗事業 96億0169万円

組合員数 404,060名

※組合員との取引価格総額

福祉事業収入 14億8,859万円

宅配組合員数 325,993名

その他事業収入 15億9,900万円

店舗組合員数 78,067名

※組合員との取引価額総額は組合員へ提供した商品及びサービスに対する金額の総額です。

県内組織率 32.0%

事業所数

宅配事業 17事業所

店舗数 7店舗

福祉事業 19事業所
(子育て支援3施設含む)

子法人 4社

コープサービス(株) コープハウジングひろしま(株)
(株)ハートコープひろしま (株)ハートランドひろしま

職員数

総合職 518人

専任職 368人

パートナー数 599人

福祉専門職 212人

ヘルパー登録数 266人

役職

理事長 宗本干城

専務理事 高浦美穂

常勤理事 重津光彦

常勤理事 重信 均

常勤監事 波田啓継

組合員の声を事業に

宅配事業
「私もひとこと」
(注文書等で受付) 2,516件

店舗事業
「あなたの声いかします」
283件

ホームページ
(お問い合わせメール)
858件

情報を共有

広報誌、「こーぶぱれっと」では毎月、理事会で確認された内容及び四半期ごとに監事会、監査活動の報告を行っています。



こーぶぱれっと4月号▶



パブリシティ

5月 9日 株式会社良品計画との調印式(中国新聞)
6月 5日 中区に新物流拠点(広島経済レポート)
7月15日 19年ぶりに平和の絵碑を設置(読売新聞)
7月16日 ピースナイターを開催(読売新聞)
7月26日 被爆80年 未来へつなぐ(RCCテレビ)
10月24日 JA全農とJA中央会と包括的連携協定(中国新聞)
10月25日 甲奴で牛乳産地交流を開催(中国新聞)
1月26日 鶏卵価格の高騰(中国新聞)
3月19日 被爆者支援募金贈呈式(中国新聞)

共助の活動(くらしの助けあい)

活動支援協力金 — 2,478,519円

活動時間 — 5,592時間

援助希望数 — 998人

活動者数 — 857人

募金・署名活動

平和募金 — 6,377,959円
小規模作業所国会請願署名 — 6,731筆
障がい者支援募金 — 2,522,555円
ユニセフ一般募金 — 3,587,741円
岩手県大船渡市山林火災支援募金 — 12,293,460円
熊本県令和7年8月豪雨災害支援募金 — 300,000円
大分県大分市佐賀関大規模火災支援募金 — 300,000円
広島県漁業協同組合連合会への支援金 — 500,000円
能登を笑顔に！応援募金～能登半島地震・奥能登豪雨災害支援～ — 1,000,000円

発行：2026年6月
発行者：生活協同組合ひろしま
〒739-0495
広島県廿日市市大野原1-2-10

本レポートはホームページでも掲載されています。

問い合わせ先
組織運営部
TEL 0829-50-0350
FAX 0829-50-0352
E-mail hcoop@mail.hiroshima.coop



ホームページ



インスタグラム